

第4回検討会での委員の皆様からのご意見と対応方針

第4回検討会での委員の皆様からのご意見と対応方針

第4回検討会で頂いた主なご意見	対応方針
<h2>1. 交通モード間の接続（モーダルコネクト）の強化</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の乗降場の集約にあたり、タクシー等の運転手の休憩時間や休憩場所も問題になっているため、公共交通の運転手にとっても、バスタが使いやすいものになるようにしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の策定にあたり、交通事業者にヒアリングしながら、運転手の休憩施設の設置を検討したい。
<ul style="list-style-type: none"> 四国新幹線についても整備方針に入れる方が良いのではないかと感じた。新幹線が来ると、大阪からは空路が減り、松山空港にある1,000台程度のレンタカーの一部は松山駅周辺に移行してくるようなことも考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来のモビリティに関する様々な可能性に対応できる柔軟性のある交通結節点整備を図るものとして整備方針に追記します。
<ul style="list-style-type: none"> 新幹線が来ると、松山駅の乗降や乗換え、滞留する人の数が劇的に増え、ターミナルを計画しなおすことになる。その際、従前の駅舎と駅前広場だけでなく、バスタや周辺の広い土地に機能を割り付けることも考えられる。駐車場、タクシー、レンタカー、待合などの需要は一応算出できるため、今後、事業計画の段階では、新幹線が来てまったく変わってしまうことも想定し、対応できるようにしておくことが重要ではないか。新幹線関係も整備方針に記載した方がいいと思う。 	
<h2>2. 駅周辺地区の交通円滑化</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> 「県都の玄関口」とあるが、「四国の玄関口」を目標として進めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「県都の玄関口」を「四国の玄関口」に修正する。 「3.移動利便性・回遊性の向上」にある「県都松山の陸の玄関口」は、県内各地の魅力を感じられる景観形成を図る趣旨のため、この「県都」の修正は行わないものとする。
<ul style="list-style-type: none"> 今後、松山外環状道路の整備や延伸により、市内に流入する交通の流れや負荷が変化し、それに伴い、松山環状線の内側も、交通ネットワークの役割が変わってくる。環状道路等のネットワーク整備と中心市街地の交通の検討を一对のものとして注目している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、事業計画の策定にあたり、交通拠点間のアクセス強化を中心に、交通ネットワークについて検討したい。
<ul style="list-style-type: none"> JR松山駅と松山市駅の役割分担を利便性が損なわれない形で対応していただきたい。整備にあたっては、バリアフリー、防災機能、まちの賑わいづくりなども重要であり、関係者の皆様、バス事業者、鉄道事業者、そして利用者の全てが利用しやすいものにしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の策定にあたり、交通事業者や利用者ともに、利便性の高いものになるよう検討したい。

第4回検討会での委員の皆様からのご意見と対応方針

第4回検討会で頂いた主なご意見	対応方針
3. 移動利便性・回遊性の向上	
<ul style="list-style-type: none">・大型のコインロッカーや更衣室、長旅の方にはシャワールームなど、空港のラウンジにあるような機能がバスタがあれば、市内を快適に回れるようになるのではないかと思います。	<ul style="list-style-type: none">・移動案内の充実や待合空間の確保などの利便性を図る方針で、具体的には、事業計画の策定にあたり検討する。
<ul style="list-style-type: none">・JRやバスで来られた方は、市内の移動がなかなか分かりにくいいため、移動についてわかるようなデジタル表示など、ストレスなく移動できるようソフト面にも目を向けて欲しい。	
<ul style="list-style-type: none">・観光客を松山にいかに取り込むかを考えると、今後インバウンドが重要になる。飛行機やJRなどで来る方にとって最初に降り立つJR松山駅で、観光や公共交通に関する案内が充実していないと、市内での回遊も難しい。移動案内の充実は、インバウンドも意識して方針に入れていただきたい。	
4. 防災機能の導入	
<ul style="list-style-type: none">・災害で、鉄道や道路ネットワークが被災し寸断されたとき、鉄道やバスが相互に補完し合う関係になるだろう。その交通手段の選択の結節点になるのが松山駅周辺で、そういった観点を盛り込んだことは重要であると思う。災害時の交通マネジメントについて検討していきたい。	<ul style="list-style-type: none">・事業計画の策定にあたり、災害時の広域的なネットワークや交通マネジメントについて検討する。
<ul style="list-style-type: none">・南海トラフ巨大地震発生時に、松山から南予地域へ支援しに行くときの拠点になることも求められると思う。その際に、松山外環状道路の整備によって動き方も変わるため、広域的なネットワークの中でバスタを位置づけることが重要であると思う。	

第4回検討会での委員の皆様からのご意見と対応方針

第4回検討会で頂いた主なご意見	対応方針
5. 官民連携	
<ul style="list-style-type: none">・整備方針の中に入れるべきかどうか分からないが、地域の商業・経済について記載がなく、今後どういったまちにしていくのか不明瞭。・大手町通りは空き店舗が増えているが、地域の企業や商店、小売業、人の流れなどについて同時に検討することで活性化につながると思う。	<ul style="list-style-type: none">・地元の商店等が様々な主体と連携しながら、ほこみち制度などにより公共空間を活用し、面的なエリアマネジメントをしていくことを想定している。・エリアマネジメントの推進を整備方針に追記する。
<ul style="list-style-type: none">・地域デザインセンターのようなものをバスタ機能の中に盛り込むことも検討してほしい。憩い・にぎわい、歴史まちづくりに繋げていけるような、また、四国のゲートウェイとしてツーリズムの拠点となるようなものを整備方針に入れてほしい。	<ul style="list-style-type: none">・郊外の取組みと連携し、地域の魅力の発信や課題解決を図る場の創出を追加する。
6. その他	
<ul style="list-style-type: none">・まちづくりのスケジュール感を懸念している。・スケジュール感が示されないと、開発事業者としても見通しが見つからないため、仮でも良いのでスケジュールを示していただきたい。・今の整備方針案では、目標年次がないので漠然としている。・交通拠点機能強化の考え方とまちづくりの繋がりがわからない。	<ul style="list-style-type: none">・スケジュールは事業計画で定める。・今後、検討会でスケジュール案を提示しながら、検討を進めたい。
<ul style="list-style-type: none">・高松より規模が大きいのに、JR松山駅周辺のワクワク感の無さを感じる。バスタや松山駅周辺の基盤整備により、どう変わるかを早くみんなで共有し、民間の投資を呼び込み、「いい街になる」⇔「いい店ができる」の好循環に繋げる必要がある。	<ul style="list-style-type: none">・早期に、事業計画を取りまとめるよう進めたい。
<ul style="list-style-type: none">・バスタというとバスタ新宿をイメージしがちだが、それだけがバスタではない。松山らしい、地域に根差したバスタを考える必要がある。	<ul style="list-style-type: none">・事業計画では、松山らしいバスタを検討したい。
<ul style="list-style-type: none">・バスタの整備は、利便性を求めすぎて安全性が失われないように留意していただきたい。	<ul style="list-style-type: none">・安全性にも配慮して進めたい。